

第1回特別支援教育研修会



ぶんぶんトーク



～子どもについてみんなで語ろう～

『子どもへの支援の具体的な方法と対策（初級編）』

特別支援教育って何ぞや？



特別支援教育

特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの

(文部科学省)

これをかみ砕くと…

特別支援教育って、障害のある子供たちが社会で自立して生きていくために行う適切な指導やサポートのことで、この指導や支援をするためには一人ひとりの困りごと（教育的ニーズ）を把握することが大切ですよ。

なおかつ、その子供のもっている得意なことを伸ばして、苦手なことを少しでも改善・克服して生活や学習での困りごとを解決することを目標にしていますよ。

特別支援教育

特別支援教育は、**障害のある**幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの

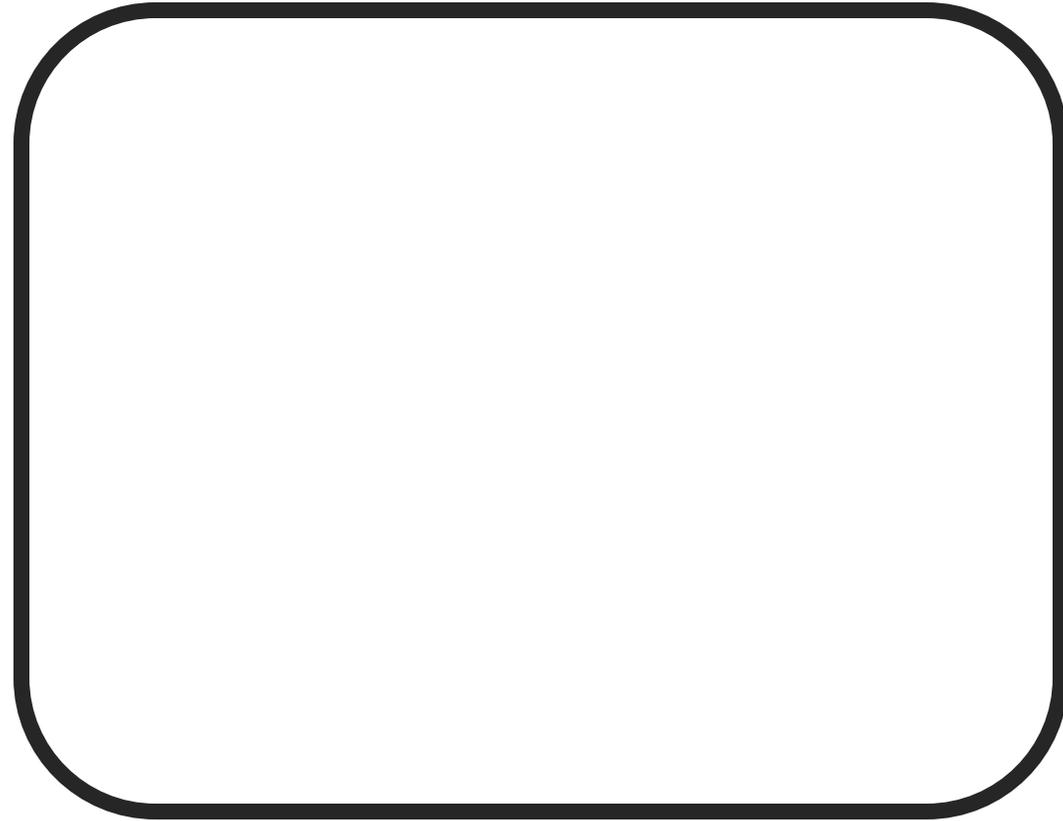
(文部科学省)

支援って何ぞや？



幕の内弁当 ¥ 6 5 0

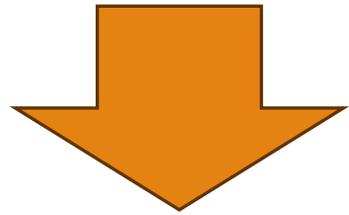
幕の内弁当を描いてみましょう。





幕の内弁当 ¥ 6 5 0

料理の写真が載っている
のでパッと見ただけでどん
な料理かわかりやすい。



写真があることでストレス
が少なく、見通しをもって決
めることができる。



視覚支援

支援方法を考える



支援方法を考えるときに最初に考えること

その子が
何ができて・何ができない
何が得意で・何が苦手



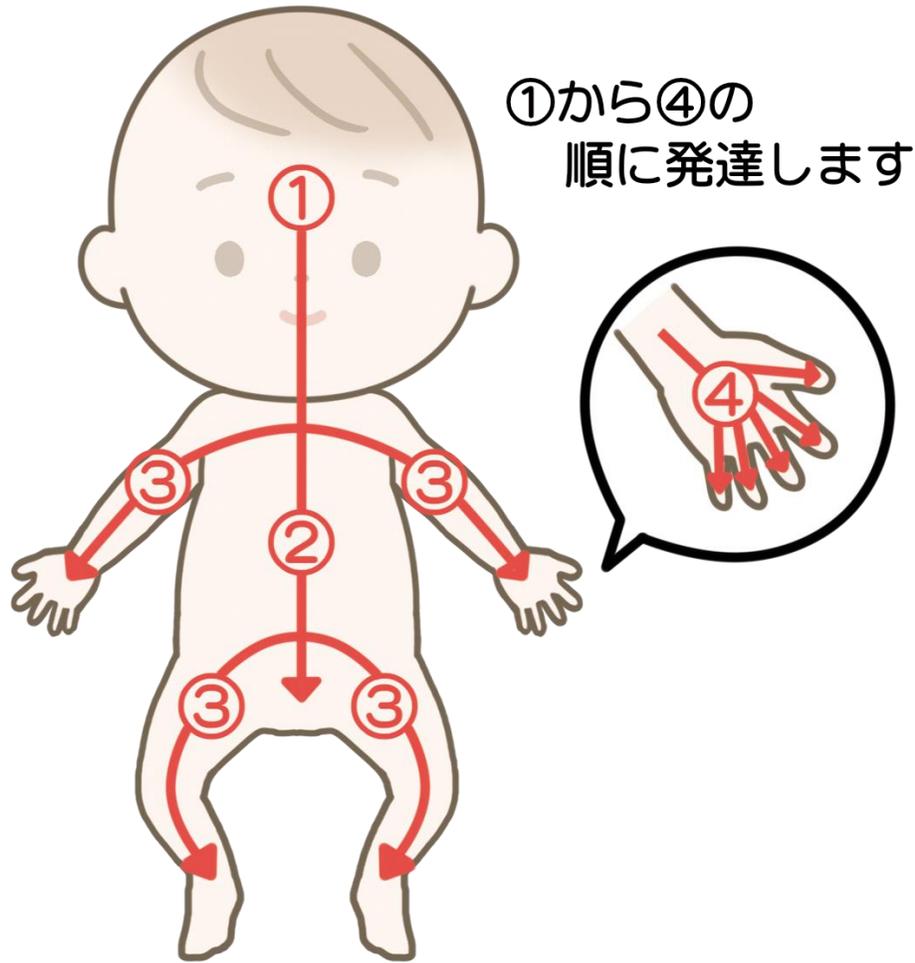
実態把握（アセスメント）

年代ごとの発達段階を知っておく

それぞれの年代の定型の場合の発達段階（身体面・心理面）を知っておくことで、自分が今関わっている子供の状態に気付きやすくなる。



全身運動の発達



身体の中から**外側**に向
かって発達していく。

粗大運動：身体全体のバランス

微細運動：手指を使った細かな動き

できないこと



できること



できたほうがいいこと

できなくてもいいこと



できそう

できなさそう



できる

教育やサポート（支援）



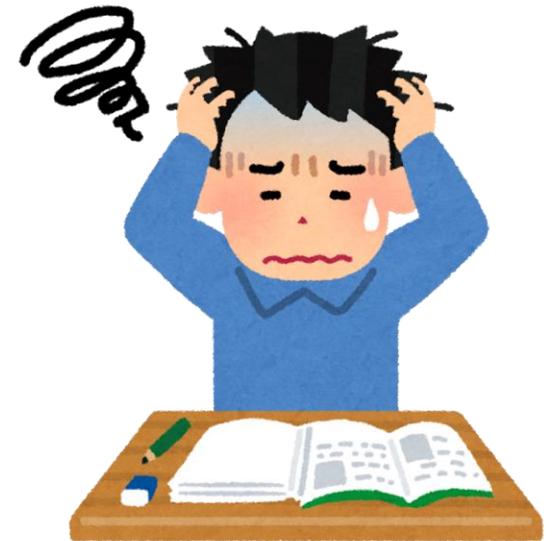
具体的な支援方法を考える



支援事例①漢字が定着しない

○アセスメントポイント○

- ・ 練習はどのくらいしているか
- ・ どこまで習得しているのか
- ・ どんな状況なら書けるのか
- ・ 読み方と文字が結びついているか
- ・ 答えと違っていることに気付いているか
- ・ 字の位置、数、関係がわかっているか
- ・ 学習以外の場面での気になる点はないか



支援事例①漢字が定着しない

○支援の方法案○

単漢字ではなく熟語で覚えさせる



(160) P14 1071	(90) P14 1743	(80) P9 2071	(7) P14 1954	(60) P19 2291	(50) P12 2484	(40) P17 2440	(30) P9 1740	(20) P15 4571	(1) P4 1938
今日	お店が開店する	商売をはじめ	木や草の実	登場人物	木の葉をひろ	地面がぬれる	本を開く	口々に言う	詩を読む
【特別読み】								同じ字を重ねる	
今	開	商	実	登	葉	面	開	々	詩
今	開	商	実	登	葉	面	開	々	詩
今	開	商	実	登	葉	面	開	々	詩

見本がないと間違える場合は漢字ノートではなく、なぞり書きの漢字ドリルを使う。

支援事例①感情のコントロールが難しい

暴言や暴力などの他害行動がある場合

○アセスメントポイント○

- ・どんな場面、人、時間、活動などで感情の起伏があるか
- ・落ち着いて活動できるときはどんなときか
- ・見たり、聞いたり、想像したりする力がどのくらいあるか
- ・感情のコントロールがどのくらいできるか
- ・自分の問題点をどのように認識しているか（認識できているか）
- ・人とのコミュニケーションの仕方（対人トラブルの場合）

※身体の不器用さがないか（身体能力）

支援事例①感情のコントロールが難しい

暴言や暴力などの他害行動がある場合

○支援の方法案○

困った行動が起こる前の支援

困った行動が起こった後の支援

支援事例①感情のコントロールが難しい

暴言や暴力などの他害行動がある場合

○支援の方法案○

やりたいことができないときに他害行動が
出してしまう場合は、やりたいことをできる
時間を保障してあげることが大切

パソコンを楽しむために さんがすべきこと	
☆登校後すること	
1. 着替えをする	
2. 連絡帳、宿題、日記を出す	
3. 熱をはかる	
4. 貴重品を入れる	
5. リュックサックを片付ける	
☆昼休みにすること	
1. 歯磨きをする	
2. 係の仕事（台拭き）	
3. 連絡帳を書く	
4. 次の日の日記をはさむ	
5. 必要に応じて着替えをする（作業服など）	
☆帰りの会前にすること	
1. 着替え（体操服）	
2. 宿題を取りに行く	
3. 連絡帳、日記、宿題をリュックサックに入れる	
4. 貴重品を取る	
5. 机の中、ロッカーをきれいに整理する	

困ったときの約束事を決めておく

問題解決の約束

- ① おこって解決にならない
- ② 自分の気持ちを、静かに伝える
- ③ 伝えることができないときには、大人に頼む

緑の星学園さくら作業所 (さんのほしがくえん さくらさぎょうしょ)

ここに行きます！
(ここにいきます！)



この部屋で作業します！
(このへやでさぎょうします！)

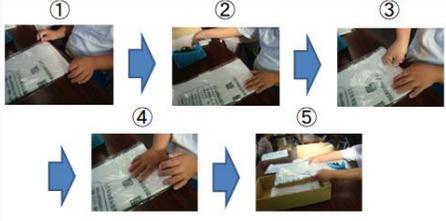


メモ(めも)

作業内容
(さぎょうないよう)



ゴミ袋
テープ貼り作業
(しまはらしのごみぶくろ
てーぷはりさぎょう)



これからする内容などを事前に確認

- ・ ソーシャルスキルトレーニングの利用
- ・ クールダウンの場の設定
- ・ 落ち着く方法の習得（数を数える、深呼吸など）
- ・ 葛藤場面を設定し、気持ちの代弁を大人がする
- ・ 良いときにどのように行動したら落ち着いたかを意識させる

困った行動が起こる前の支援

支援事例①感情のコントロールが難しい

暴言や暴力などの他害行動がある場合

○支援の方法案○

他害行動が起きてしまった場合は、まずその場から離すことが必要です。

目の前に怒りの対象があると子供が再熱しやすくなります。

☆子供と約束やルールを決めるときには、子供が自分で「決めた」という気持ちをもたせることが必要です。

○遅刻について

★遅刻をするのは嫌い
(なんで)→

★遅刻をしてきたときにどうしてる？

↓

★どうしたら、遅刻しても落ち着いて授業に入れるかな・・・？
【あなたがすること】

【先生がすること】

自分がしたこと
のフィードバック
をして、次に
同じことが起きた
ときの対応まで
考える

困った行動が起こった後の支援

困った行動が起こる前の支援

困った行動が起こった後の支援

10のうち1でも出来たら褒める！いいときに褒める！

支援が上手くいかないとき

困った行動が減らないときは、一度、実態把握を見直してみましよう。また、担任だから、担当だからということに縛られず、その子供に関わるいろいろな方々を巻き込んで実態把握を見直すことも必要です。一人の視点では見えなかったものや考えが浮かぶかもしれません。

明日から意識できる特別支援

『大丈夫？』 『わかった？』



『やってみて』 『説明してみて』

参考文献

- 特別支援教育が教えてくれた発達が気になる子の育て方 著者：平熱
- よくわかる発達心理学 監修：渡辺弥生
- 知的障害と発達障害の子どもたち 著者：本田秀夫
- 学びにくさのある子への読み書き支援 著者：井上賞子



E N D